

北部初府立高校 ミニ・生命のメッセージ展 ～次代を担う高校生から地域へのメッセージ～

9月、高校生たちにとって、最大のイベント文化祭シーズンの到来です。
セーフコミュニティ概念に基づく地域協働を進める京丹後市では、網野町、峰山町にある府立高校2校の生徒たちが、犯罪被害者支援について、地域の人たちと一緒に考える活動に取り組みました。
わずか数日、3年生にとっては最後の文化祭、彼らの思いを紹介します。

網高祭(H24.9.2～4)



H24.9.2(日)
府立網野高校で準展示の備が始まりました。



NPOの方から指導を受けながら、
最初は、とまどいながら、丁寧に準備

彼らが準備していたもの、それは…
この展示の主役であるメッセンジャー



展示する教室には…

「天国への手紙」と書かれたポストと
自分の思いを綴る「栞」(しおり)のために、机とペン
が準備されました。

一般の人たちにも公開されるこの部屋で、彼らはメッセンジャーと
どんな会話をするのでしょうか？



H24.9.2(日)～4(火)
ミニ・生命のメッセージ展が公開されました。

発表を終えた生徒たちが、次々と
展示室に足を運び、それに混ざり、
多くの一般の方々の姿も…

どの生徒も口数が少なく、メッセンジャーの
前で、会話をしているように、真剣な眼差し。
「栞」にも一生懸命、考え考えて、思いを
書いていました。



峰高祭 (H24.9.4~6)



H24.9.4(火)夕刻

府立峰山高校に網野高校からメッセンジャーがやってきました。

峰山高校では、各クラスに交通委員がいるそうです。
全校生徒を代表して、彼らが明日から始まる展示のために準備

広い体育館の1/4のスペースで、準備が整った時にハプニング！
明日を待ちきれない一部の生徒が、「葉」を書きたい！と…
すぐ終わるのかと思いきや、長い時間、悩みながら書いていました。

H24.9.5(水)~6(木)

ミニ・生命のメッセージ展が公開されました。

前日の準備では、軽音部がリハーサルの音を止めて
協力してくれました。



生徒たち、一般の方
みなさん「葉」、「命の重さ」
を結ぶ赤い毛糸でできた
毛玉

何も言わなくても… 自然にその場所へ…
「葉」を書くその姿勢は、メッセンジャーやその家族に何か伝えよ
うと、そんな思いが伝わる1週間でした。



峰山高校では、7月に、スタントマンが実際の交通死亡事故を再現するスケアード・ストレイトを
実施して、今回のメッセージ展につなげ、生徒たちに「命」の大切さを訴えました。

ミニ・「生命のメッセージ展」とは

殺人・悪質な交通事犯・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどの
結果、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。
「命の重さ、尊さ」を訴え、犯罪のない社会を創造し、未来
の命を守ることを目的としています。

生徒たちの声(会場内での会話から)

生きてることが普通だと思ってた。メッセンジャーに出会って、生きることがこんなに
素晴らしいものだと教えてもらった… 一生懸命に生きよう！（泣いてました。）

見てるとなんか辛い思いもあるけど、一人ひとりが、考えて行動すれば、悲しい出来
事は起こらない、将来、車を運転するようになって、今日を忘れないようにしたい。

